

乙女座ラグナ

ケンドラ マラカ	ドウシュタナ 敏感な中立	トリコーナ	ケンドラ ウパチャヤ
ドウシュタナ トリシャダ ウパチャヤ	乙女座ラグナ		トリシャダ ウパチャヤ
トリコーナ			トウシュタナ 敏感な中立
ケンドラ	トリシャダ ウパチャヤ	敏感な中立 マラカ	Asc トリコーナ ケンドラ

機能的吉星	金星、水星
機能的凶星	火星、木星、月
中立	
マラカ	火星、他の凶星
備考	金星はマラカであるにも関わらず、キラーとして機能しない

乙女座ラグナの人は、ラグナロードが同時に10室を支配しており、仕事において有能であると言えます。ラグナが吉星と絡めば、そこに必ず仕事の10室がくっついてくるからです。仕事を通して自己実現する配置と言えます。

木星は7室の支配星であり、女性にとっては2重に配偶者を表わします。従って、乙女座ラグナの人にとっては木星の恩寵が配偶者の中に現れるため、配偶者との関係性が重要になるようです。これは双子座ラグナでも言えます。

8室支配の火星は機能的凶星化して、凶意をもたらしており、しばしば乙女座ラグナの人に苦悩をもたらす表示体となっています。

それは3室も同時に支配しているので、弟や妹がらみだったり、火星は乱暴な人を表す為、暴力団とか血の気の多い人物であったりすることも多いようです。

乙女座ラグナの人から威張る人が嫌いだと聞いたことがありますが、それは乙女座ラグナにとっては、火星や太陽が8室や12室を支配しているからです。火の星座が嫌いなのです。これは土の星座にとっての共通点です。

然し、乙女座ラグナは火星が8室を支配しているため、乱暴で威張る人に頼らざるを得ない場合もしばしばです。

乙女座ラグナの人は、土星と火星という二大凶星が6室と8室を同時に支配するため、これらが絡んだ場合、強い凶意を発揮し、犯罪に巻き込まれて苦悩することもあり得ます。

一方、水星と金星の絡みはドゥシュタナやトリシャダの絡まないスーパーラージャヨーガを形成します。

乙女座ラグナの人は、ラグナで金星が減衰するため、恋愛に奥手であったり、セクシャルな事柄が苦手であったりします。

Edited by Kanteiyo